

防災意識の重要性紹介



▲県総合防災訓練で段ボールベッドの使い方を説明する県防災士会の会員ら＝8月27日、福島市

NPO化した県防災士会

県防災士会は今年六月に任意団
体からNPO法人に改組し、市民
の防災意識や自助防災組織の重要
性を伝えていく。八月二十七
日に福島市で行われた県総合防災
訓練では災害時に避難所などで活
用する「段ボールベッド」の組み
立て方や正しい使い方を参加
者に紹介した。

防災士は二〇三(平成十五)
年に始まった民間資格。地震や水
害の際に市町村や消防などと協力
し、被災者救助や避難所運営に携
わる。日本防災士機構の認定機関
が開く二日間の講習会と、消防や
目赤の普通救命講習を修了すれば
資格を得られる。

県防災士会は東日本大震災と東
京電力福島第一原発事故を機に日
本防災士会真支部として二〇二
二年八月に発足した。会員数は発足
当初の二十六人から企業などの賛
助会員を含め約五百五十人に増え
た。看護師や消防OB、建設業関
係者の幅広い職種の人材が揃い



▲段ボールベッドの使い方などを説明する県会理事長(右)＝8月27日、福島市

社会全体 情報を共有

具体制構築

おいて流域
対応タイム
それぞれ

創設

小川川につ
ては、これ
利用施設に
化し、地域

防災基本計画の 主な修正内容

- 首長や幹部職員を対象にした
災害対応力向上の研修

政府の中央防災会議
本地震など昨年発生し
経験を踏まえ、対応の
防災基本計画を見直し
見直しの主な内容は
り。物資の輸送で混乱
本地震を教訓に輸送拠
どの方針を盛り込んだ

大震災 未来

県は今年度 消防団
する事業所を認定する
消防団サポ一ト企業」
だ。八月末までに認定
十四社が登録している。
減少傾向が続く消防
に向けた取り組みの一
ト企業は消防団員や消
業所などを対象に、自
サービスの割引などを
一ト企業側には消防団
の利用増加が見込める
ある。
県は登録事業所に対

